

ぶらネットこまき

http://www.komakichiku.com/ (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第100号

古牧だより通算194号

ぶらネットこまき100号を迎えて



古牧地区住民自治協議会 会長 宮島俊文

古牧地区住民自治協議会の広報誌「ぶらネットこまき」は、平成19年7月1日発行の創刊号から数えて今月号でちょうど100号になります。住自協設立以前からの広報誌「古牧だより」を含めると194号になり、大変長い歴史を持っていることになります。これも発行を担当する広報部員のみなさまのご尽力と住民のみなさまのご協力の賜物です。本当にありがとうございます。

現代は、インターネットを利用すれば住自協のホームページで古牧地区の様々な話題や活動を知ることができます。それでも古牧全世界帯に配布されている広報誌は地域の情報誌としてインターネットを見ない方々、忙しい方々にも広く情報が伝わる重要な役目を担っていると思います。

古牧地区でも年齢層別グラフに示す通り老年人口の急速な増加と年少人口の減少が見られます。この少子高齢化の対策を福祉部会は特集記事を作って報告しています。将来を担う子どもの健やかな成長を見守り、高齢者の健康と自立を応援する活動を継続していくことが大切です。

これからも古牧地域の皆様に、住自協の行事を通し、子どもたちの明るく元気な姿やご年輩のみなさまのご活躍等を、分かりやすくお伝え出来るよう広報活動に頑張りますので、よろしくお願い致します。

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



創刊号
古牧だより通算95号



「ぶらネットこまき」の創刊を祝して

長野市長 岸澤 正一

「ぶらネットこまき」の創刊を心からお祝い申し上げます。

さて、現在、「地方分権」や「規制緩和」など、行政改革もより社会的・経済的な変革が大きく、しかも急速なスピードで進んでおります。中でも、地方自治体は非常に厳しい状況下であり、少子高齢化とも相まって、今後の地域づくりに向けた重要な時期を迎えております。

このような中で、古牧地区においては、今年三月という極めて早い時期に住民自治協議会が設立されました。情報の発信や共有は、地域コミュニティ活性化の基盤であり、住民自治協議会によ

る「ぶらネットこまき」が今創刊されますことは、誠に意義深いことだと思います。

古牧地区はごみの分別の実施第一号の地区でもあり、子どもを守るための防犯パトロール活動にも前から熱心に取組んで頂いております。新しい課題に常に挑戦していこうとする住民の皆さんの積極性が感じられる地区であればこそ成果ではないかと存じます。

「都市内分権」は住民による自己決定と実践が求められる仕組みであり、皆さんの地区のような進取の取組みに賛同し新たな住居みではないかと思っております。今年度は、住民アンケートの実施や大勢の住民の参加を目指したイベントの開催を予定されているように伺っておりますが、新たに生じてくるであろう課題に対しても、住民こそって果敢に取り組んでいただけるものと大いに期待しているところであります。

創刊に際わられた関係の皆様から敬意を表しますとともに、古牧地区並びに住民自治協議会のさらなるご発展をお祈り申し上げ、創刊に当たりますようお願いのことはといたします。



3月18日、550名の参加で設立された住民自治協議会設立総会

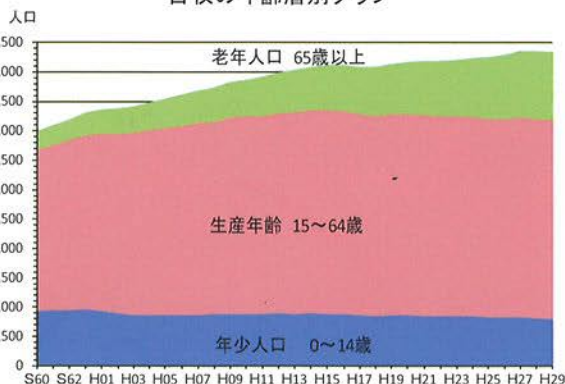


古牧地区住民自治協議会 設立総会

◆古牧地区住民自治協議会の動物とロゴマークが決まりました。
「ぶらネットこまき」(bura-net komaki)のロゴマークの公募。広聴・つながりマークの公募。古牧の「古」をアレンジして、川や緑水が多くある市内と人々の暮らしの輝きを表現した。西原運部にお住まいの宮川さやかさんの作品が入選しました。

平成19年7月1日 創刊号 ぶらネットこまき 11

古牧の年齢層別グラフ



第30回 ふるさとふれあい教室

おいしいカレーに楽しいレクリエーション

10月15日（日）に第30回ふるさとふれあい教室が三陽中学校で開かれ、400名以上の三世代のみなさんが集まりました。

各地区でカレーの材料の準備をし、さぁ！ウォークラリー開始、という時に突然の雨。残念ながらウォークラリーは中止になってしまいました。そのかわりに雨の日に予定していたレクリエーションをしました。「じゃんけんゲーム」、「バランスゲーム」など各地区対抗戦で楽しむことができました。

今年は住民自治協議会の地域間交流事業で、戸隠地区から小学生を含め20名の方々が参加



され、各地区のチームに分かれ一緒にゲームを楽しみました。



その後、待ちに待ったお昼のカレー。毎年、このカレーはとてもおいしいと楽しみに来る方も多く、特に今年は、材料のジャガイモ、玉ねぎを戸隠地区から提供していただきました。みなさん、おいしいカレーをお腹一杯いただきました。

参加者から、「ウォークラリーが中止になったのは残念だけど、レクリエーションが楽しかったので良かった」、「おいしいカレーが食べられたので、また来年も参加したい」などの声が聞かれました。解散の頃には、雨はやんでいましたが黒い雲が垂れ込めていましたが、天気とは反対に楽しいひと時を過ごすことができました。（青少年育成部）

笑顔がいっぱい

第30回 希望の旅

身体障がい者の「出会い・ふれあいの集い」希望の旅が10月4日（水）、須坂市の湯っ蔵んどで83人が出席して盛大に行われました。

初めの式の後に入浴。初参加の方も顔馴染みの方も、とても楽しそうに広いお風呂にゆったりつかり、くつろいでおられました。

その後、全員でほんわか健康応援隊による健康体操で体をほぐし、乾杯して宴会に。みなさん食事に舌鼓をうちながらテーブルの方々と会話がはずんでいました。



余興はカラオケ、ビンゴ、ずんどこ体操など盛りだくさん。多くのボランティアさんと役員さんの協力で大変盛り上がりしました。

「また来年も来たいね」との声も聞かれました。アンケートの結果では施設、余興ともほぼ満足が大半を占め、「来年もよろしく」などの記載がありました。

来年も元気で会いましょう。

（福祉部）



10月25日（水）、古牧地区の34人のみなさんが戸隠地区を訪問し交流しました。戸隠のみなさんとの交流は今年で2年目です。

天候は雨でしたが、戸隠地区のみなさんと遊歩道を歩きながら交流。自然公園駐車場から奥社参道途中の随神門までウォーキングを

しました。随神門からは樹齢400年以上のクマ杉並木の参道。多くの観光客が奥社をめざしており、「さすが観光地、戸隠」を感じました。

最後に戸隠そばを堪能し、戸隠地区との地域間交流が終了しました。（総務部）

秋のゴミゼロ運動 ～西尾張部で一斉清掃～



秋のゴミゼロ運動が10月1日から、古牧地区ではじまりました。このうち国道18号から東に長く広がる西尾張部地区では、好天に恵まれるなか、一斉清掃が行われました。

「おはようございます」第一声で開始。早朝より区民のみなさんが多く参加され担当部長の指示に従って清掃しました。声をかけ合い和気あいあいとした雰囲気。これがスムーズかつ隣組の連帯感を生み、住みやすい地域作りにつながっているのではないかと思います。

道路、側溝、公園等、約1時間余りの作業で区内が「チョット良くなったかな」、いや大変きれいになりました。

近年、ペットボトル、空き缶、可燃物、不

燃物等の不法投棄が減少し清掃時にはほとんど見られませんでした。年間を通してゴミゼロ、河川清掃と区民参加による清掃活動が、ゴミを出さない意識作り、環境作りの一端を担っているのではないかと感じます。

今後もきれいな古牧地区を維持継続させるため、地域のみなさんのご協力をお願いいたします。（環境美化部）

古牧地区全戦没者追悼式

9月27日（南高田 西光寺）



追悼のことば
(永坂遺族会長)

11月から12月までの主な行事実施日のお知らせ

(多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	場所	実施内容	主催
男性の料理教室	11月21日	古牧公民館	料理を覚えて家族サービスしてみませんか!? 目指せ 料理男子!	ボランティアセンター 244-8159
学校と地域で人権を考える集い	11月29日	緑ヶ丘小学校	人権教育授業参観講演会	人権男女参画部
健康食講習会	12月6日	三陽保健センター	がん予防メニュー	ボランティアセンター 244-8159
ひとり暮らし高齢者のつどい	12月8日	古牧公民館	みんなで楽しく食事をして、クリスマス会をします	ボランティアセンター 244-8159
年末防犯夜間パトロール	12月	各区	夜間防犯パトロール	防犯部



海釣りの魅力



職場の友人から海釣りに誘われ、20数年前から本格的な海釣りにハマっています。海釣りの中でも船に乗って沖に出て釣りをするので。

1回、船に乗って出ると6時間位帰ってきません。

波の高い日には船酔いもして酔い止め薬を飲んでも全然効かない状態が何度かありました。また、魚の種類によっては釣り場所が違うので必ず船長に確認をして自分が釣りたい魚を言って乗船予約を取ります。

今感じているのは、海の中がだいぶ変わりがつあるのではと思っています。

4年～5年前に話題になっていたエチゼンクラゲの姿を見ることはありません。毎回のよう海面をプカプカ浮いてましたが、今では全く見られなくなりました。

その代わりに姿を見せるようになったのがサメです。釣った魚を海中で「パクリ」と食べられてしまい、頭だけ釣り上げた人もいます。

今は、主に天然真鯛釣りにハマっています。釣りに行っても全く釣れない「ボウズ」の日もあり、次回は必ず釣りたいと思ってもなかなか思うようにいきませんが、今後も体が続く限り海釣りを楽しみたいと思っています。

(中村 幸司)



古牧地区の世帯数と人口

29年10月1日現在

11,312 世帯

26,757 人

(男 13,175人 女 13,582人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 宮島 俊文

■編集 ぶらネットこまき編集委員会

■印刷 ㈱小池印刷